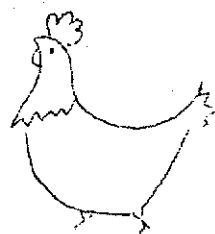


x x x x

研究通信第五二号は大変おくれてしまいました。原稿などそろえていざ発行という時期に学年試験、採点と大学にとつては年一回の「農繁期」に際会したため、このようにおくれました。会員諸氏に深くお詫び申しあげるとともに、次号はこうしたことのないよう研究室一同自省しております。

(竜野四郎)



「村落社会研究」第二集

原稿募集

○締切 昭和四一年五月三十一日

○枚数はとくに決めませんが、掲載原稿の取捨選択については、編集委員に御一任いただきます。

